

世 界 史

I (配点 36)

次の文を読み、(1)～(9)の問いに答えよ。

[解答番号 ～]

インドでは、前2600年頃から^{ア)}インダス文明が栄え、インダス川流域に多くの計画都市がつくられた。この文明は^{イ)}メソポタミアと交易を行っていたことが明らかになっている。

インダス文明の衰退後、前1500年頃に中央アジア方面からアーリヤ人が進入・定住し、以後のインド文化の基礎を形成した。アーリヤ人の社会が形成されていく中から生まれた身分制度であるヴァルナ制は、後のカースト制度の基礎となった。

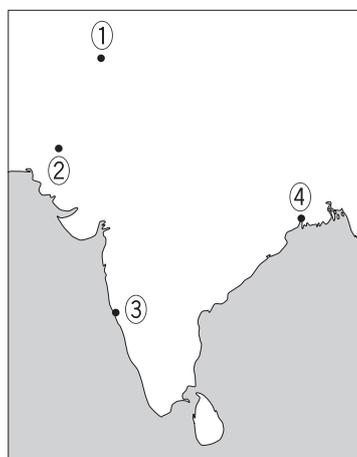
その後、ガンジス川流域に生まれたいくつもの都市国家が発達すると、^{ウ)}武士階級や商人などの力が強まり、こうした変化を背景に、^{エ)}仏教やジャイナ教など、ヴァルナ制を否定する新宗教も登場した。

これらの都市国家はやがて統合され、^{オ)}西方からの大軍勢がインダス川流域を脅かした前4世紀後半には、インド最初の統一王朝である^{カ)}マウリヤ朝が登場した。

マウリヤ朝の滅亡後、インドでは^{キ)}北西部のクシャーナ朝とデカン高原のサータヴァーハナ朝が栄え、ついで4世紀に成立した^{ク)}グプタ朝時代には、インド古典文明が黄金期をむかえた。しかし、この頃から、インドでは仏教などにかわってヒンドゥー教が社会に定着していった。

7世紀にヴァルダナ朝が滅亡した後、インドは地方政権による分裂・抗争の時代となったが、その後イスラーム勢力がインドへ進出するようになり、インドでは長期にわたる^{ケ)}ヒンドゥー勢力とイスラーム勢力の抗争の時代へと突入していった。

(1) 下線部^{ア)}に関連して、インダス文明の代表的都市遺跡であるモエンジョ＝ダエロの位置として最も適当なものを、次の地図中の①～④の中から1つ選べ。



(6) 下線部**カ**に関連して、マウリヤ朝に関する記述として誤っているものを、次の①～④の中から1つ選べ。 6

- ① 石柱碑が各地に建てられた。 ② 『リグ=ヴェーダ』が編纂された。
③ 仏典結集が行われた。 ④ 仏教の海外伝道が行われた。

(7) 下線部**キ**に関連して、クシャーナ朝あるいはサータヴァーハナ朝に関する記述として誤っているものを、次の①～④の中から1つ選べ。 7

- ① クシャーナ朝では、大乘仏教が保護された。
② クシャーナ朝では、ガンダーラ美術が発達した。
③ サータヴァーハナ朝は、ローマと交易を行った。
④ サータヴァーハナ朝は、チャンドラグプタ 2 世の時に最盛期をむかえた。

(8) 下線部**ク**に関連して、グプタ朝時代の文化に関する記述として最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選べ。 8

- ① カーリダーサが『シャクンタラー』を著した。
② アズハル学院が建てられた。
③ ウルドゥー語が成立した。
④ 『シャー=ナーメ』（『王の書』）が完成した。

(9) 下線部**ケ**に関連して、インドにおけるヒンドゥー・イスラームの対立と融和に関する次の a～c の出来事を年代の古い順に並べた場合、最も適当なものを、下の①～⑥の中から1つ選べ。 9

- a マラーター同盟が、ムガル帝国と戦った。
b アクバルがジズヤを廃止し、ヒンドゥー勢力との融和をはかった。
c 奴隸王朝は、南のヒンドゥー勢力と共存しながら統治を行った。

- ① a → b → c ② a → c → b ③ b → a → c
④ b → c → a ⑤ c → a → b ⑥ c → b → a

II (配点 48)

次の文を読み、(1)～(7)の問いに答えよ。

[解答番号 ～]

中国の諸王朝のうち、北方民族が中国に建てた王朝を征服王朝とよぶことがある。これは、歴史学者のウィットフォーゲルが提起した概念で、元来は、遼・金・元・清の4王朝をさして使用された用語であった。

遼は10世紀に建てられた を初代皇帝とする王朝で、華北に領土を広げ、^{ア)}北宋を圧迫した。国内では、漢民族を支配するための独自制度を整えたが、12世紀、新たに勃興した金によって滅ぼされた。滅亡後に中央アジアに逃れた遼の皇族は、後継国家である西遼 () を建国し、東西貿易によって栄えた。

遼を滅ぼした金は、12世紀に建てられた女真による王朝で、華北一帯を領有して、江南の南宋と を国境として対峙^ヒした。華北を支配した金では、二重統治体制がとられる一方で、中国化も進み、12世紀半ばには燕京(現在の北京)に遷都した。この頃から中国では、^{イ)}北京の重要性がしだいに増した。

13世紀初め、チンギス=ハンは大モンゴル国(モンゴル帝国)を形成した後、^{ウ)}ユーラシア各地に支配拡大の遠征に乗り出し、この動きは後継諸ハンにも受け継がれた。第5代皇帝の は中国支配に重点を移し、国号を中国風に元と称した後、13世紀後半には南宋を滅ぼし、北方民族王朝として初めて中国全土の支配に成功した。この時代、^{エ)}モンゴル人のユーラシア支配によって海陸交易の活発化が促され、東西交流も進んだ。元は紙幣濫発などによる経済混乱で力を失い、14世紀後半に勃興した明によって帝室はモンゴル高原に追われた。しかし、その ^{オ)}明も15世紀半ば以降、モンゴル高原の諸勢力に苦しめられた。

金の滅亡後、明の支配を受けた女真は、17世紀初めヌルハチのもとで後金を建て、やがて後金は清と称するようになった。清は の反乱で明が滅びた直後に華北に侵入してこれを支配し、さらにその領域を中国全土からモンゴル高原・チベットにまで広げて、中国歴代王朝中最大の領土を有する大帝國となった。清はその広大な領土を直轄領と藩部に分け、藩部は に統轄させるなど、巧妙な統治政策を生み出し、3世紀に及ぶ中国支配を維持したが、19世紀以後は、^{カ)}国内諸勢力の反乱や外国勢力の圧迫に苦しんだ。

(1) ～ に当てはまる適切な語句を、解答群1からそれぞれ1つ選べ。

解答群1

| | | | |
|---------|---------|---------|--------|
| ① 李成桂 | ② 理藩院 | ③ カラハン朝 | ④ 淮河 |
| ⑤ オゴタイ | ⑥ カラキタイ | ⑦ 完顔阿骨打 | ⑧ 李自成 |
| ⑨ 耶律阿保機 | ⑩ 都護府 | ⑪ 黒竜江 | ⑫ フビライ |

(6) 下線部**オ**に関連して、1449年にオイラトが明の皇帝を捕虜にした事件について、その事件のよび名と、捕虜とされた皇帝の組み合わせとして最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選べ。 20

- | | |
|------------|------------|
| ① 靖康の変－宣統帝 | ② 靖康の変－正統帝 |
| ③ 土木の変－宣統帝 | ④ 土木の変－正統帝 |

(7) 下線部**カ**に関連して、19世紀の清で起こった出来事に関する記述として最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選べ。 21

- | | |
|--------------|--------------------|
| ① 辛亥革命が起こった。 | ② 下関条約を結んだ。 |
| ③ 三藩の乱が起こった。 | ④ 白蓮教徒が、紅巾の乱を起こした。 |

Ⅲ

(配点 36)

次の(A)(B)の文を読み、(1)～(9)の問いに答えよ。

[解答番号 ～]

(A) アメリカ大陸の先住民は、氷期にベーリング海峡を渡ったモンゴロイド系の人々であるとされる。彼らは大陸の各地に移動・定住して独自の文明を築いた。

ア) 15世紀末以後、来航したヨーロッパ人は、これらの文明や国家を破壊した。ラテンアメリカはスペインやポルトガルの植民地とされ、先住民は労働力として使役された。先住民が酷使や伝染病などで死亡し、人口が減少すると、ヨーロッパ人はアフリカ大陸から黒人奴隷を連行し、それを補充した。イ) アメリカ大陸の産物はヨーロッパに運ばれ、その経済や文化に大きな影響を与えた。

一方、北米地域にはイギリスやフランスなどが進出し、それぞれ植民地を拡大した。英仏両国は、ウ) 18世紀のヨーロッパで起こった国際戦争と連動して、アメリカ大陸でも植民地戦争を繰り広げたが、この結果フランスはアメリカ大陸の植民地をすべて失い、植民地争いにおけるイギリスの優位が確定した。その後、エ) 北米大陸ではイギリス本国と植民地側の対立が激化して戦争となり、植民地はアメリカ合衆国として独立した。

(1) 下線部ア)に関連して、アメリカ古代文明・国家と、それを滅ぼしたヨーロッパ人の組み合わせとして最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選べ。

- | | |
|---------------|--------------|
| ① アステカ王国－コルテス | ② アステカ王国－ピサロ |
| ③ マヤ文明－コルテス | ④ マヤ文明－ピサロ |

(2) 下線部イ)に関連して、これによってヨーロッパに起こった商業革命に関する次の文中の空欄 ・ に当てはまる語の組み合わせとして最も適当なものを、下の①～④の中から1つ選べ。

商業革命とは、貿易の中心が に移動した現象をいう。西欧諸国は経済的先進地域となり、東欧では輸出用の穀物を生産する が形成された。

- | | |
|----------|---------------------|
| ① ア－地中海 | イ－シェアクロッパー |
| ② ア－地中海 | イ－農場領主制 (グーツヘルシャフト) |
| ③ ア－大西洋岸 | イ－シェアクロッパー |
| ④ ア－大西洋岸 | イ－農場領主制 (グーツヘルシャフト) |

(B) 19世紀になると、アメリカ合衆国の独立やフランス革命の影響を受けて、オ) ラテンアメリカでも独立の動きが盛んになった。独立運動の中心となったのは、カ) 植民地生まれの白人たちであったが、彼らは多くの場合、独立後のラテンアメリカ諸国の支配層を形成した。ラテンアメリカの市場化をねらうイギリスは、これらの独立運動を支持した。

この間、キ) アメリカ合衆国は着実に領土を拡大し、19世紀末に世界一の工業国に成長すると、イギリスにかわってラテンアメリカ諸国に影響力を行使するようになった。アメリカ合衆国は、ク) 20世紀初頭にはカリブ海政策によって盛んな軍事介入を行い、世界恐慌期にはラテンアメリカ諸国によるドル=ブロック形成をめざした。

20世紀半ば以降、ラテンアメリカでは、ケ) 反米左派路線をとる諸国があいついで登場し、アメリカ合衆国を悩ませている。

(5) 下線部オ)に関連して、ラテンアメリカ諸国の独立に関する記述として最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選べ。 26

- ① ハイチは、スペインから独立した。
- ② メキシコは、フランスから独立した。
- ③ ベネズエラは、イギリスから独立した。
- ④ ブラジルは、ポルトガルから独立した。

(6) 下線部カ)に関連して、植民地生まれの白人をさす言葉として最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選べ。 27

- ① クリオールヨ
- ② アボリジニー
- ③ メスティーソ
- ④ ワस्प (WASP)

(7) 下線部キ)に関連して、アメリカ合衆国の発展に関する記述として最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選べ。 28

- ① 独立戦争に勝利し、イギリスからカリフォルニアを獲得した。
- ② フロンティアの消滅が原因で、南北戦争が起こった。
- ③ 南北戦争中、奴隷解放宣言が発せられた。
- ④ 日本に対して門戸開放宣言をつきつけ、開国させた。

(8) 下線部ク)に関連して、19世紀末～20世紀前半のアメリカ合衆国の対外政策に関する記述として誤っているものを、次の①～④の中から1つ選べ。 29

- ① カリブ海のプエルトリコを、スペインから獲得した。
- ② 第一次世界大戦には中立を保ち、参戦しなかった。
- ③ パナマ運河を建設し、その管理権を握った。
- ④ フランクリン=ローズヴェルト大統領時代には、善隣外交政策がとられた。

(9) 下線部ケ)に関連して、次のa・bの説明と、それに当てはまる地図中のX～Zの国の組み合わせとして最も適当なものを、下の①～④の中から1つ選べ。 30

- a 1959年、カストロらに指導された革命によって、親米のバティスタ政権が打倒された。
- b 1970年、史上初の選挙による社会主義政権が樹立され、アジェンデが大統領となった。



- ① a - X b - Y
- ② a - Y b - X
- ③ a - X b - Z
- ④ a - Y b - Z

(4) 16世紀、ハプスブルク家勢力に包囲される形となったカトリック国のフランスは、イスラーム国のオスマン帝国と同盟を結び、これに対抗しようとした。このようにフランスは、カトリック国でありながら教会・教皇と一線を画し、時に対立する政策をとる場合もあった。こうしたフランスのふるまいに関する記述として誤っているものを、次の①～④の中から1つ選べ。 34

- ① フランク王国のクローヴィスは、アリウス派に改宗し、教皇に敵対した。
- ② フィリップ4世は、アナーニ事件で教皇ボニファティウス8世を捕らえた。
- ③ 三十年戦争において、フランスは新教徒勢力を支援して介入した。
- ④ フランス革命中、教会財産が国有化された。

(5) 19世紀のドイツ統一に際しては、政治的統一に先だって関税同盟とよばれる経済統合がなすとげられた。ドイツ関税同盟が結成された時期として最も適当なものを、次の年表中の①～④の中から1つ選べ。 35

| |
|---|
| ① |
| 1814年 ウィーン会議の開催 |
| ② |
| 1830年 フランス七月革命の勃発 |
| ③ |
| 1848年 フランス二月革命の勃発 |
| ④ |

(6) 第二次世界大戦後の冷戦時代、米ソを中心とした同盟・協力網が世界に広がったが、このうち、アメリカ合衆国を中心とした西側諸国の同盟（いわゆる反共軍事同盟）や協力組織として誤っているものを、次の①～④の中から1つ選べ。 36

- ① 太平洋安全保障条約（ANZUS） ② 米州機構（OAU）
- ③ ワルシャワ条約機構 ④ 北大西洋条約機構（NATO）

(7) 「条約」とは、国と国の合意を文書で記したもので、ヨーロッパの場合、最も古い条約の1つは、フランク王国の分割に関するヴェルダン条約とメルセン条約である。この両条約を含めたフランク王国の歴史に関する記述として最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選べ。 **37**

- ① ピピンはメロヴィング朝を創始し、教皇に土地を寄進した。
- ② 教皇レオ3世は、カールに帝冠を授けた。
- ③ カール大帝は、トゥール・ポワティエ間の戦いでイスラーム勢力を破った。
- ④ フランク王国は、ヴェルダン条約とメルセン条約によって、ドイツ・フランス・スペインに分裂した。

(8) 1648年に結ばれたウェストファリア条約は、三十年戦争の講和条約であると同時に、ヨーロッパに新しい主権国家体制を確立させた、世界最初の近代的な国際条約として重要である。この条約で定められた内容に関する記述として最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選べ。 **38**

- ① 神聖ローマ皇帝の権力が強化され、中央集権化が進められた。
- ② ルター派が初めて公認された。
- ③ フランスはアルザスを失い、勢力を後退させた。
- ④ スイスとオランダの独立が承認された。

(9) 19世紀から20世紀初めにかけて、列強はアジア諸国に進出し、治外法権などを含む不平等条約を押しつけた。各国の不平等条約に関する次のa～cの出来事を年代の古い順に並べた場合、最も適当なものを、下の①～⑥の中から1つ選べ。 **39**

- a 江華島事件の後、日朝修好条規が締結された。
- b アヘン戦争でイギリスは清を破り、南京条約を結んだ。
- c ロシアはカージャール朝を破り、トルコマンチャーイ条約を結んだ。

- ① a→b→c ② a→c→b ③ b→a→c
- ④ b→c→a ⑤ c→a→b ⑥ c→b→a

(10) 第一次世界大戦後、連合国は敗北した同盟国と個別の条約を結んだ。同盟国と、その国が結んだ講和条約の組み合わせとして最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選べ。

40

- ① ドイツ－ヴェルサイユ条約 ② ブルガリア－ローザンヌ条約
- ③ オスマン帝国－ヌイイ条約 ④ オーストリア－セーヴル条約